

小海町女性議会 一般質問 事項・要旨

H29年10月11日(水) 13:00～

順 番	議席番号 氏 名	
	質問事項	質問の要旨
1	第7番 北原 富美子	
	1. 町の方針と理念	①リーダーとなる町長から各課の組織の役割、責任、権限の明確な指示がされているか。 ②各課は、個人の力量アップとなる教育訓練を計画し、より充実した運用ができていないか。 ③各課間のコミュニケーション、町民とのコミュニケーションを確実にするための具体的な方針は
	2. 町の財政について	①財政健全化法による指標を公表しているが、より町民にわかりやすい説明を ②ラスパイレス指数の算出の仕方、その数値について他町村や近隣町村との比較をし、その結果について町長の見解をお聞きしたい。 ③一般会計の歳出の中で、本間大田団地宅地造成事業、町営住宅建設事業に関する契約数、入居者数の実数と今後の計画の具体的な数字の提示
	3. 耕作放棄地、休耕地の太陽光発電について	①太陽光発電による農地転用の普及の実態は ②農地法だけでなく、町独自の規制の有無 ③売電価格が大幅に下がっているが、運営している会社・企業が撤退した時の契約等はできているのか。
	4. 町ホームページの充実	①ホームページの管理はどの課がどのようにしているか。 ②内容が代わり映えせず、更新も遅く、ホームページ全体の更新予定は具体的にあるのか。 ③町の色々な広報手段が町民及び町外の人たちに十分に届いている実感はあるのか。
2	第5番 関 繁子	
	1. 超少子高齢化の小海町の現状の中、今後の町づくりについて	①目先ばかりの事でなく、10年後20年後の住民の暮らしぶりをイメージした長期的な町づくり計画は ②小海町で生まれ育った子供たちが、小海町で「暮らしたい」と思える具体的な対策は 【資料】現状と10年後、20年後の人口構成図、年齢構成ピラミッド
	2. 観光について	①観光資源の発掘と観光客誘致のための具体的な企画は ・旅行会社とのタイアップでのツアー企画、JRとの協賛での撮り鉄ファンを呼び込むなど。
	3. 町職員のあり方について	①行政職は縦割りの組織編制ではあるが、横の連携が不足しているのでは ②トップが替わると事業が途絶えたり、方向性が変わることについてどのように思われるか ③職員は適材適所があると思うが ④高齢、障がい、生活に不安を抱えた住民がいる中で行政職員にも専門性を持った社会福祉士など必要では ⑤包括支援センターには三職種が必要と法的に記されているが、現状は保健師のみ、これで良いのか。

第1番 井出 紀子		
3	1. 町営バス運行について	①現在の町営バスは、松原湖線以外土日祝日運休である。中学生の部活動練習も保護者の送迎であり、休日は車の無いお年寄りなどは出かけられない。南・北相木は土日祝日も本数を減らして運行している。せめて午前、午後 1 本ずつでも運行できないか。ワゴン車などで巡回バスも検討してほしい。 ②休日に定期的に運行ができなくても、休日に行われる町の行事、運動会、中学校の文化祭、直売所のお祭りなどの時だけでも臨時バスを出してはどうか。町政 60 周年の折にも交通手段がなくコンサートに行くのをやめられた方もいるようです。ぜひ考えていただきたい。また、公共交通機関が充実していないと、運転免許証の自主返納を迷う高齢者の方もいると思います。町営バスの充実を
	2. AED 設置場所について	①町の中でも AED 設置場所は増えているが、松原総合グラウンド、スケートセンターには設置されていない。佐久穂町の千ヶ日向グラウンドや海瀬グラウンドには設置されている。スポーツ中に AED が必要なケースがあり問題にもなっているのでぜひ設置してほしい。常時設置が難しいのであれば、スケートシーズン中、グラウンドは使用時に持ち運び型 AED の貸し出しはできないか。理想は各公民館に一つあってもいいかと思います。また、観光客用に観光案内所にあっても良いのでは。
	3. 直売所のこれからについて	①今までいくつかのお菓子や鞍掛豆のコンテストをやっているが、単発で特産品につながっていない。4月にリニューアルして商品化に向け動いているが、他に仕事を持ちつつ加工していくには限界がある。新商品作りや安定した加工品を作っていくには専属スタッフも必要だと思う。若い人たちの働く場所にもなるよう、その人たちの技術力アップ研修など町の協力、支援をお願いしたい。
第4番 倉島 実希恵		
4	1. 公衆のトイレについて	①町内で乳幼児のおむつを替えたい時その場所を探すのが大変な状況、町としての対策はどうか。 ②対策として現在ある施設の (1)おむつ替えの場の提供 (2)フイッティングボードと同じ役割を果たす対策 (3)以上のことができる場所の案内の提示 以上を提案したいがどうか。 ③施設が新しくできる際には②を踏まえた施設、イベントになればと思うがどうか。
	2. 子産み子育ての町小海について	①「小海で子育てをしたい」と思える、他市町村と比べて優れているところ、違うところ、一番のアピールポイントはどこか。 ②金銭的な支援以外で、どのような事が「子育ての町」と言えるのか。それをどのように町外にアピールしているのか。

5	第6番 篠原 房子	
	1. 少子高齢化が進んでいる小海町の将来について	①商工業等の継続に関わる後継者問題について ②Uターン、Iターンを希望する人が安心して移住できる環境(特に仕事面)についての具体的な対策について
6	第3番 鷹野 マリ	
	1. これからの町の観光について	①稲子湯の先にある唐沢橋からミドリ池への登山道もきれいになったので登山者のために地図を作れないか。 【参考に唐沢鉱泉周辺案内図を配布】 ②町でのイベントは沢山あるが、参加を考えていたのに、うっかり時期がすぎてしまうことを避けるために、年間イベント表のようなものが作成できないか。
	2. 地域住民の高齢化と減少で起きること	①地区で町からの役職、例えば交通安全協会、保健推進委員など、これらの役を受ける人が年々少なくなっている。今後、町ではどのように対応をしていくのか。
7	第4番 小須田 真美	
	1. 中学校の部活動について	①何年か前に男子バスケ部を作ってほしいと中学校にお願いしたのですが、その願いは叶わなかったそうです。教育委員会に相談すれば力を貸してもらえるのでしょうか。 ②学習面では色々補助して頂いていますが、スポーツ面に対しても同じ様な支援がほしいと思います。 ③子供は、色んな可能性を持っていると思います。その力を引き出せる場所を提供してほしいです。 ④チームプレイのスポーツは心を育てるにはとても良いことだと思います。思いやり、協力、輪、少人数で出来るスポーツも少子化に伴い必要では、小海中だけでは難しいのであれば南佐久の中学校と合同で作る考えは ⑤部活動の選択肢が少なく子供のやる気もうせていると思います。子供のみ住所移転し別の学校へと考えている方もいると聞いたことがあります。このような意見を聞きどう思いますか。
	2. コミュニティスクール運営委員会について	①年2回の会議がありますが、1回目は内容も理解しないままの参加で1年任期の委嘱、PTA保護者に何を求めているのですか、運営内容が理解できて終わり。
	3. 事務の引継ぎ、連絡時期について	①4校PTAの講演会の段取りの悪さにビックリしました。夏休みにもかかわらず出席人数の報告を求めた文章、引継ぎはどうなっているのでしょうか ②担当者の任期は何年ですか ③年間計画表があればPTA保護者へ4月5月頃配布してほしいです。だいたい2週間前頃の連絡になってしまうのはどうしてですか。

8	第8番 依田 久代	
	1. 若い世代の定着について	①高校卒業後、県外に進学・就職をした者が、再び戻って来やすい環境作りについて (1)雇用定住促進助成金を受けている者はどれ位いるか。 (2)奨学金を受けた者が条件付きで返済を免除とする考えはあるか。
	2. 北牧楽集館の図書の利用及び町開催の企画に参加した時にポイントをつける必要性について	①ポイントを付ける必要性はどこにあるのか。同じく楽集館を利用している公民館登録グループの活動には付かない、その差は何か。
	3. 町外の人が小海町を訪れる事による経済効果について	②例えば音楽堂を訪れる人の 8 割位は町外の人のように思われるが、音楽堂を利用する以外に町内で食事をしたり、買い物をしたりしているのか。アンケートを取ったり、データを取ったりしているか。音楽堂の利用だけなら利益にならないと思われるが、何らかの経済効果を生み出す事を考えているか。 松原には音楽堂、美術館、スケートセンター、温泉とあるわけですが、お客が一箇所のみならず、複数の施設を利用して相乗効果を生んでいるか。またその工夫をしているか。4施設とも赤字と聞いているが、その改善は。将来にツケを残すことは良くないと思う。